

個人投資家向け会社説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

(東証1部、札証 証券コード:8377)

平成23年6月



設立：昭和18年
(創業明治10年)
本店所在地：富山市
店舗数：(国内) 187 (海外) 5
(本支店136、出張所51)
従業員数：2,718人
資本金：1,404億円
自己資本比率：11.32%
格付：(JCR) A (R&I) A



設立：昭和26年
本店所在地：札幌市
店舗数：(国内) 138 (海外) 2
(本支店130、出張所8)
従業員数：2,222人
資本金：935億円
自己資本比率：10.59%
格付：(JCR) A (R&I) A



設立：平成15年
本店所在地：富山市
資本金：708億円
自己資本比率：11.29%
格付：(JCR) A
(R&I) A

地方銀行 主要勘定残高

単位：億円

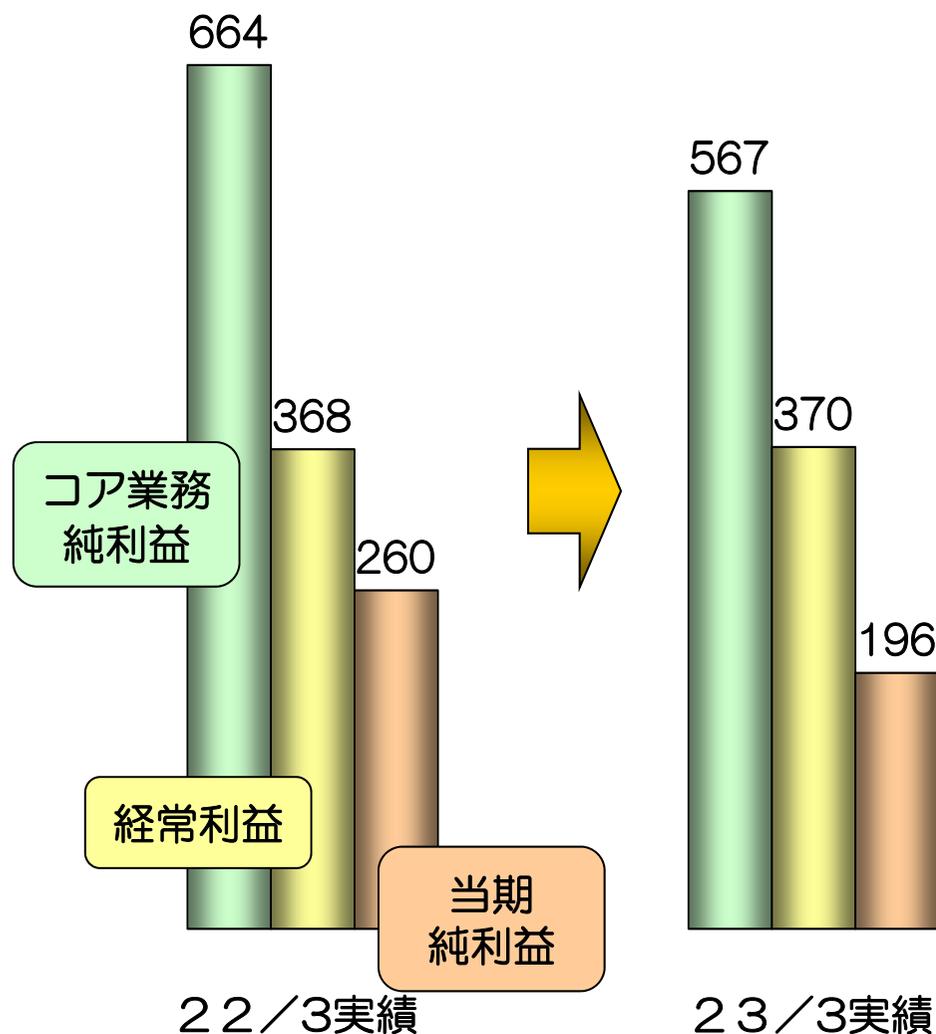
	預金		貸出金		有価証券	
	金額	順位	金額	順位	金額	順位
1位	横浜	107,531	横浜	86,441	ふくおか	29,672
2位	ふくおか	103,897	ふくおか	84,711	京都	27,617
3位	ほくほく	93,717	千葉	73,714	中国	25,261
4位	千葉	91,383	ほくほく	72,411	ほくほく	23,151
5位	静岡	73,529	静岡	66,591	常陽	21,856

各行決算短信より当社作成～「ふくおか」「ほくほく」は単純合算～

23年3月期決算概要

23 / 3期決算概要～損益状況

【収益状況】 <2行合算> (億円)



23/3期は減収・経常増益決算

<FG連結 23/3期実績(前年度比) >

経常収益 2,146億円 (▲120億円)

経常利益 372億円 (+ 18億円)

当期純利益 184億円 (▲8億円)

<2行合算>

コア業務粗利益1,554億円 (▲55億円)

コア業務純利益 567億円 (▲97億円)

- ・資金利益は増加するも役務・その他業務利益が減少

- ・システム更新投資、人財投資で経費増加

経常利益 370億円 (+1億円)

- 与信費用減少 (109億円改善)

当期利益 196億円 (▲63億円)

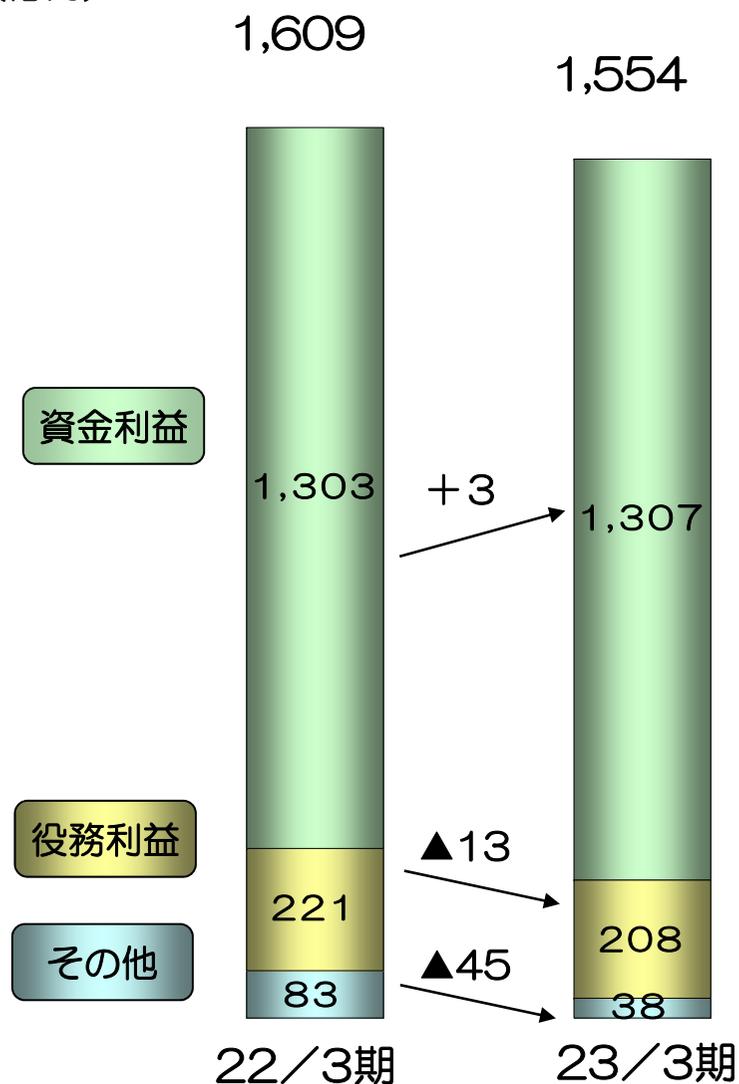
特別損益

- ・子銀行で適格年金制度移行 (▲12億円)
- ・前期は子会社清算益 (30億円)、退職給付信託設定益 (13億円) の特殊要因あり。

23/3期決算概要～コア業務粗利益

【コア業務粗利益】 <2行合算>

(億円)



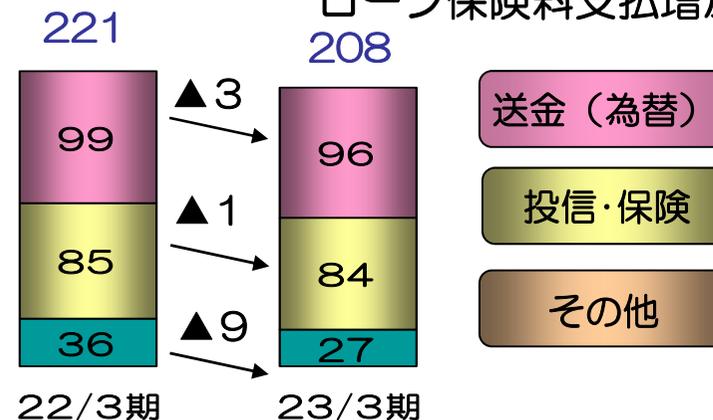
前年度との比較

【資金利益】 国内部門 前年比+7億円増加
(貸出利回り低下を有価証券運用増加で補完)

(億円)	残高増加	利回り低下	利息
貸出金	+184	▲0.12%	▲82
有価証券	+3,066	+0.04%	+38
預金・NCD	+3,359	▲0.07%	▲54

【役務取引等利益】

送金手数料収益減
ローン保険料支払増加



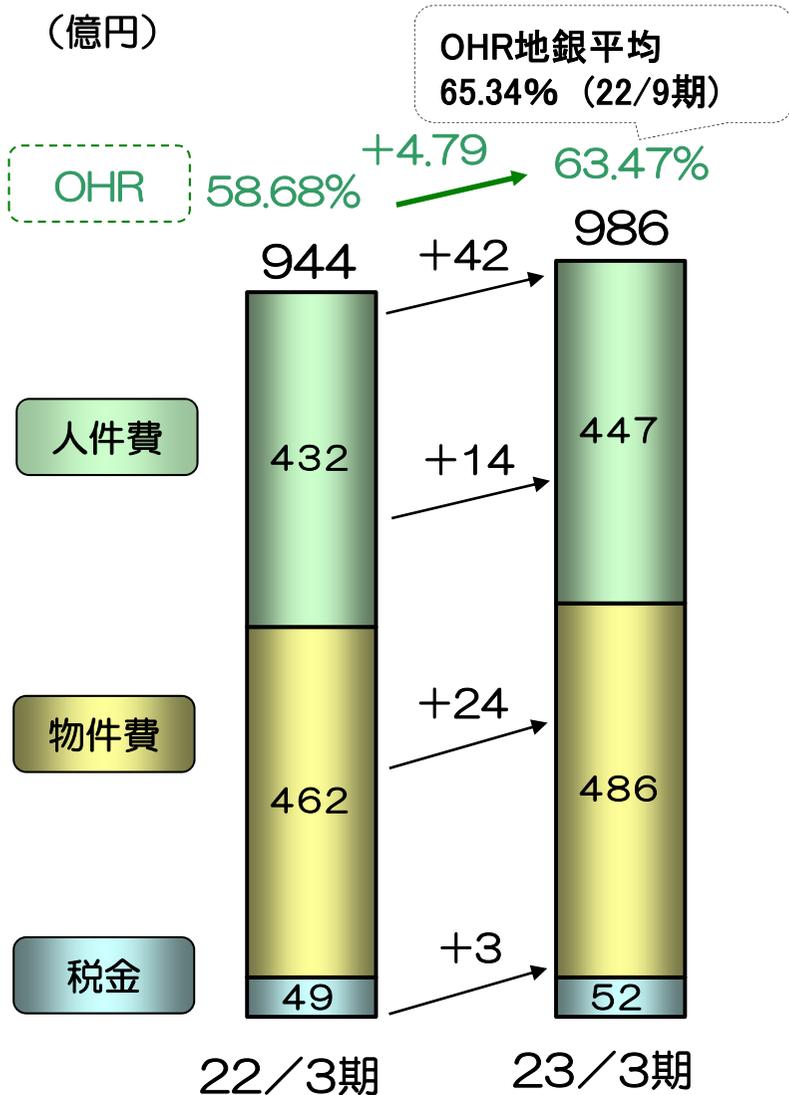
【その他業務利益】

外国為替売買益	41	→	16 (▲24)
金利派生商品収益	27	→	9 (▲18)

23 / 3期決算概要～経費

【経費（除く臨時処理分）】 〈2行合算〉

(億円)



OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

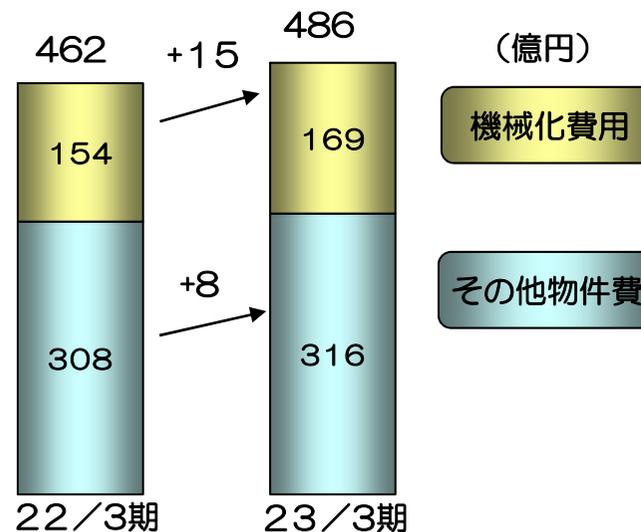
前年度との比較

【人件費】 営業力強化、契約社員の行員登用

期末従業員数 (人)	22/3末	23/3末	差異
北陸	2,611	2,718	+107
北海道	1,910	2,222	+312
行員合計	4,521	4,940	+419

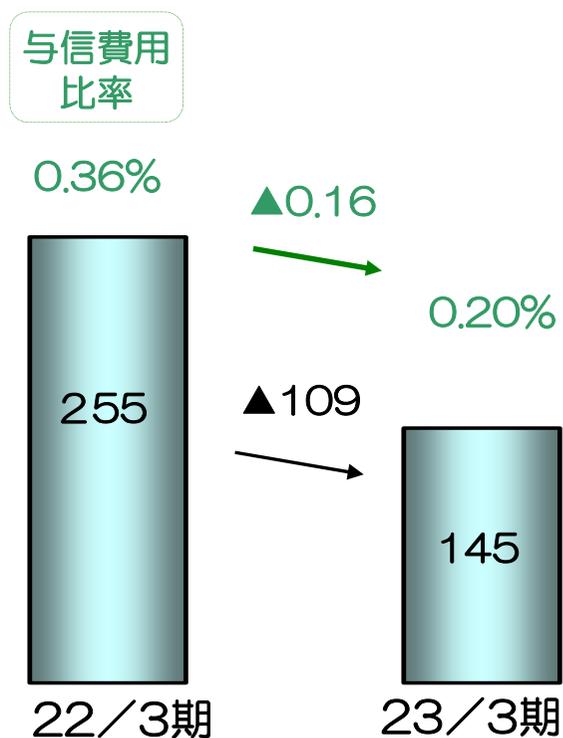
契約社員・パート (2行合算)
23/3末 前年比▲456名減

【物件費】 新システム投資費用増加

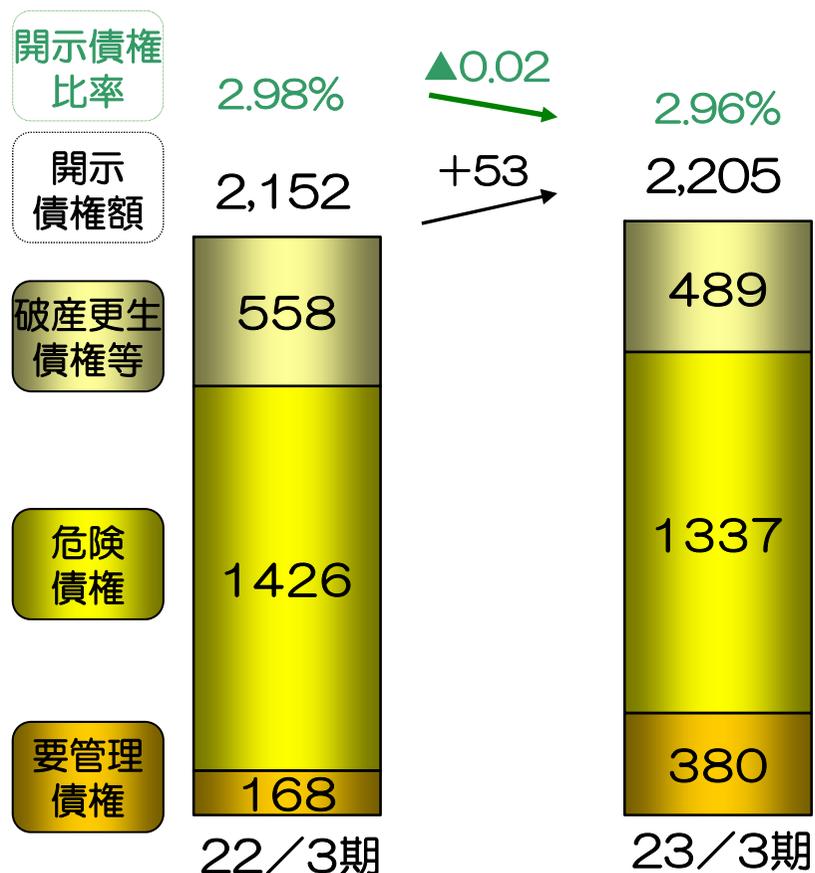


- 金融円滑化法の底支えや、企業再生支援強化により与信費用は109億円減少
- 開示債権比率は3%を切る水準を維持

【与信費用】 <2行合算> (億円)



【金融再生法開示債権】 <2行合算> (億円)



※与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入
与信費用比率＝与信費用÷貸出金平均残高

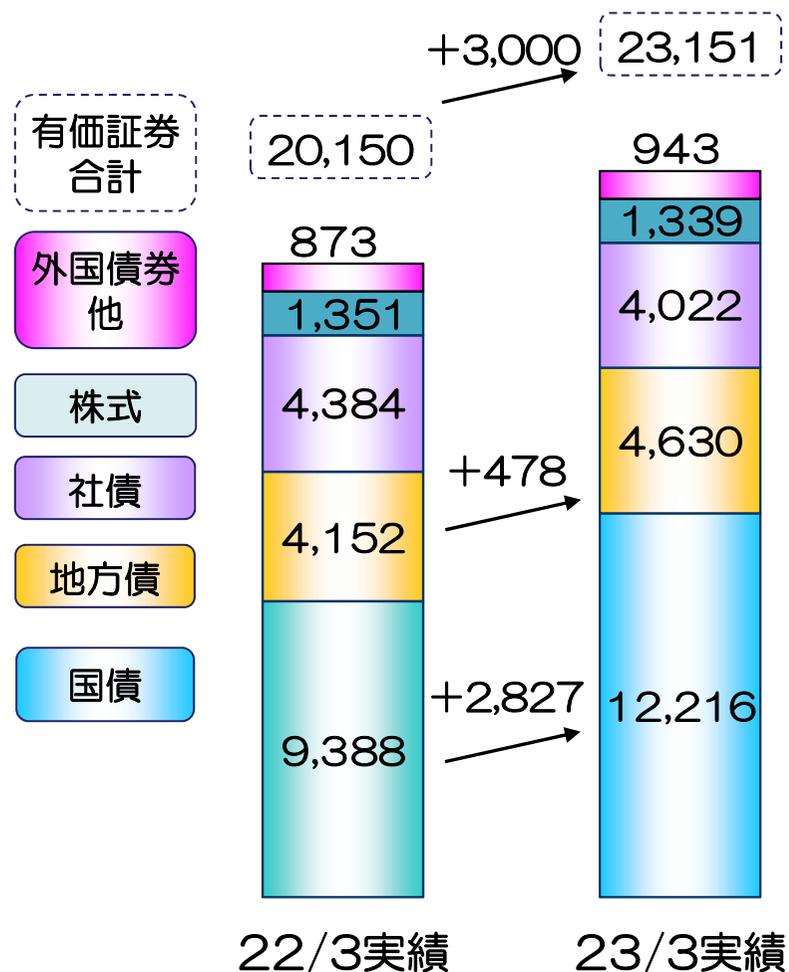
23/3期決算概要

有価証券残高
関係損益・評価損益

- 有価証券損益は株式市況下落で13億円低下。有価証券評価損益は評価益32億円増加
- 有価証券残高は国債・地方債を中心に積み上げ

(億円)

【有価証券残高】 <2行合算>



【有価証券関係損益】 <2行合算>

	22/3末	23/3末	差異
国債等関係損益	20	17	▲3
株式等損益	▲17	▲27	▲10
有価証券関係損益	2	▲10	▲13

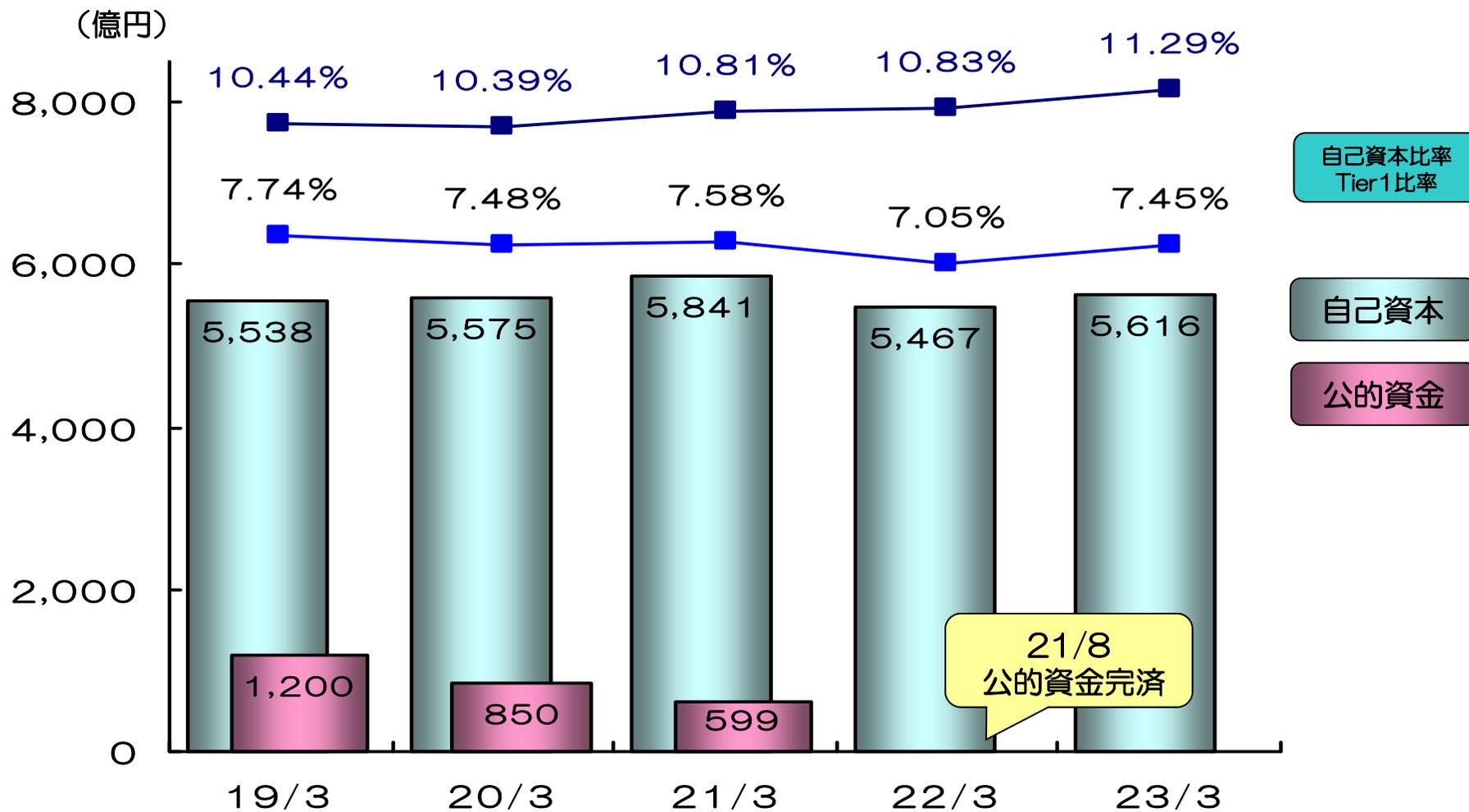
【その他有価証券評価損益】 <2行合算>

	22/3末	23/3末	差異
株式	61	68	+6
債券	193	210	+17
その他	▲38	▲29	+8
合計	216	248	+32

23 / 3期決算概要～自己資本比率

➤22 / 3期に公的資金完済。今期は自己資本を着実に積み上げ。

【自己資本比率・公的資金残高の推移（FG連結）】



23 / 3期決算概要～子銀行業績

【収益状況】 (各行)

(億円)

経常収益
コア業務粗利益
経費
コア業務純益
有価証券等関係損益
与信費用
経常利益
当期純利益

北陸銀行	
23/3期	22/3期比
1,088	▲ 48
885	▲ 15
538	20
346	▲ 36
▲ 28	▲ 3
71	▲ 63
229	29
119	▲ 37

北海道銀行	
23/3期	22/3期比
870	▲ 67
668	▲ 39
447	21
221	▲ 60
17	▲ 9
74	▲ 45
141	▲ 28
77	▲ 26

<北陸銀行>

コア業務粗利益 (前年比▲48億円)

為替、投資信託手数料減少

金融派生商品収益減少

経費 (同+20億円)

増員、システム投資

経常利益 (同+29億円)

与信費用減少

当期利益 (同▲37億円)

<北海道銀行>

コア業務粗利益 (前年比▲67億円)

資金利益減少、保険手数料減少

外為売買益減少

経費 (同+21億円)

増員、システム投資

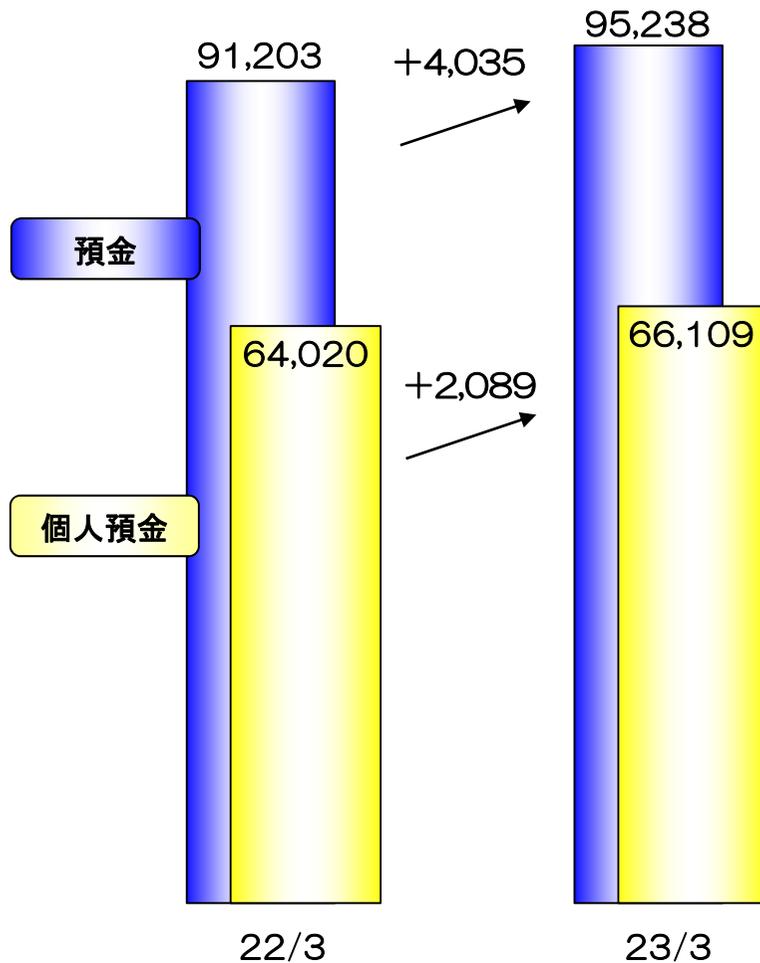
経常利益 (同▲28億円)

当期利益 (同▲26億円)

23 / 3期決算概要～預金

➤個人預金の増加を主因に、預金は前年度末比4,035億円増加

【預金】 〈2行合算〉 (末残、億円)



「宝くじ付き定期預金」 (北海道銀行)

- 19年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年サマージャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年年末ジャンボ宝くじ
2等 1億円
- 21年年末ジャンボ宝くじ
1等 3億円
- 22年年末ジャンボ宝くじ
1等 3億円

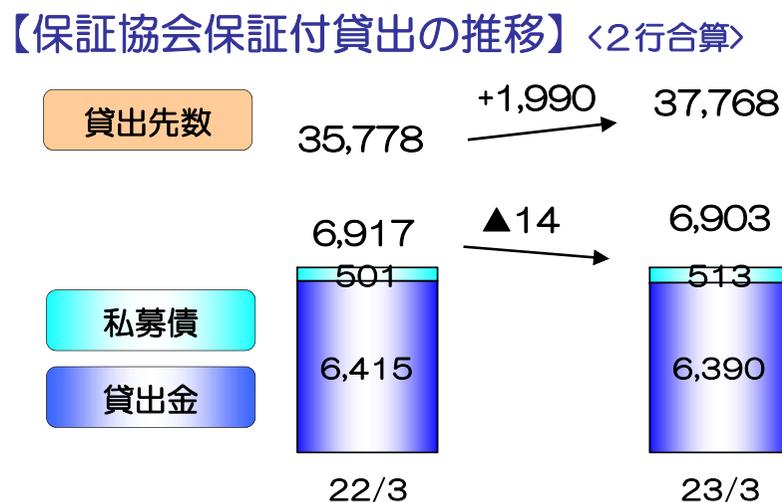
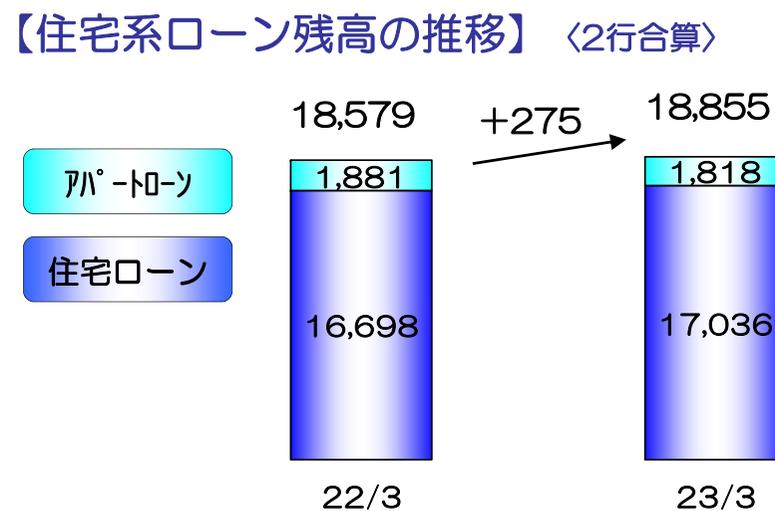
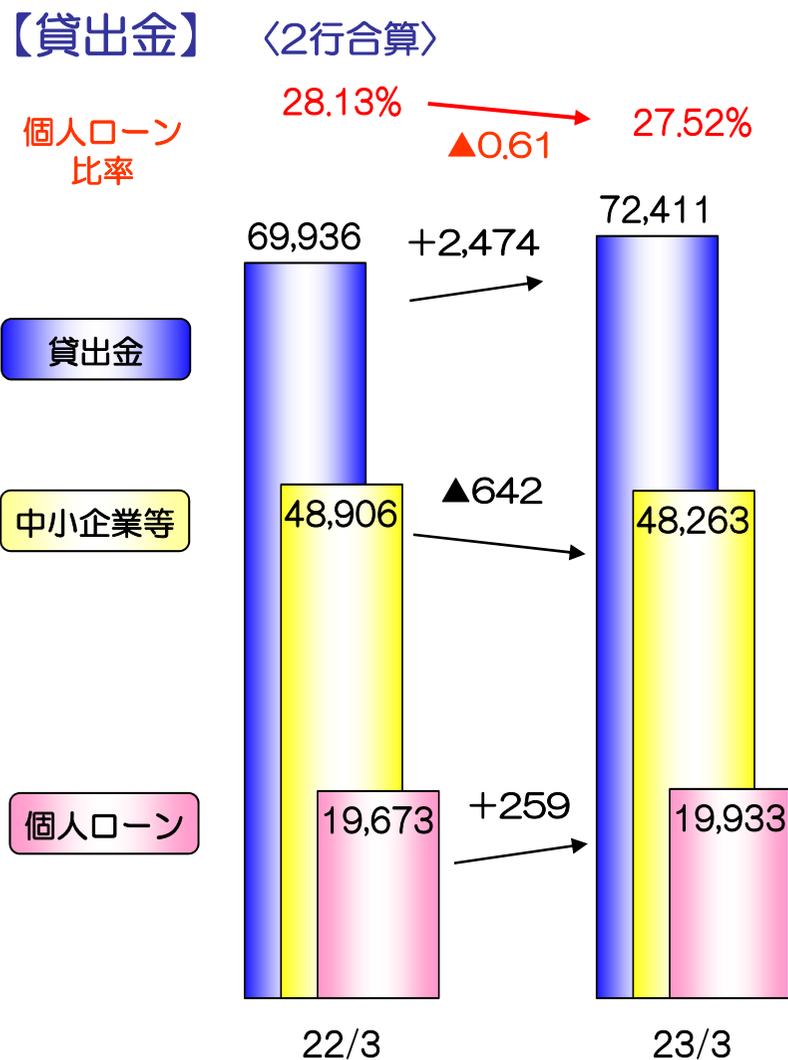


※譲渡性預金を含む

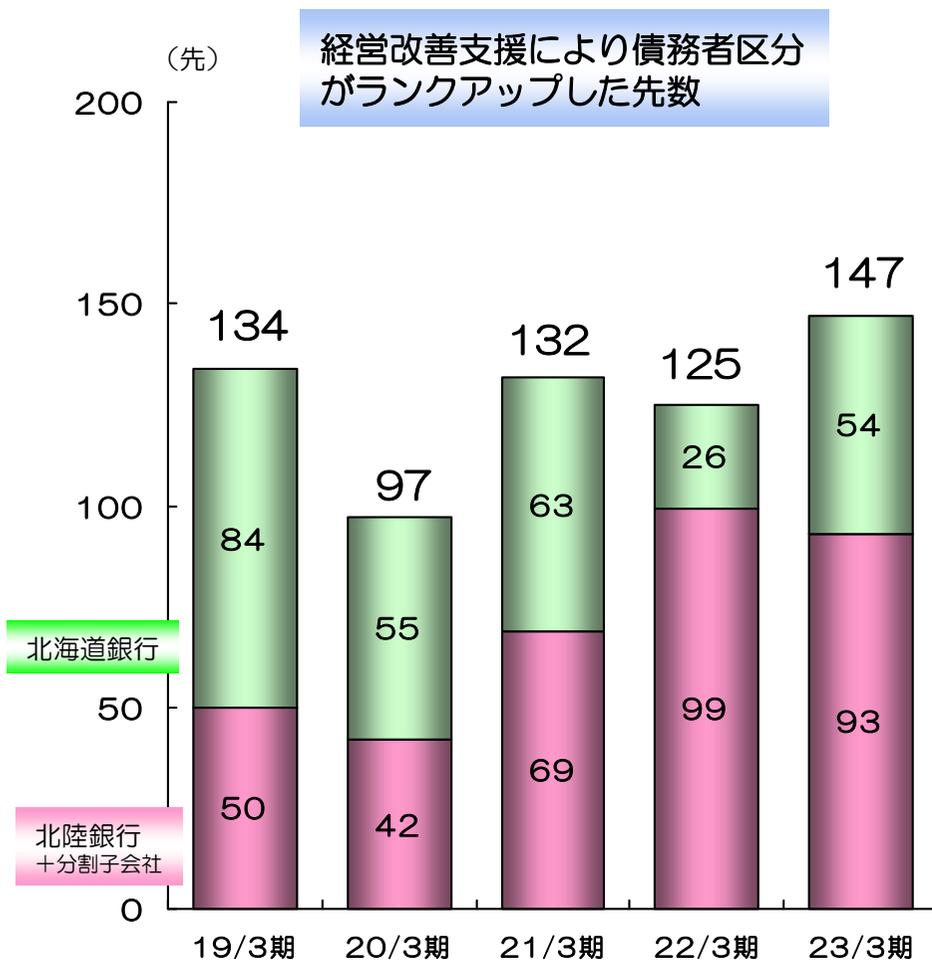
23 / 3期決算概要～貸出金

- ▶ 貸出金は地公体等向け貸出しを中心に前年度末比2,474億円増加。
- ▶ 個人ローンは住宅系ローンを中心に前年度末比259億円増加。
- ▶ 保証協会貸出は微減、貸出先数は大幅増加

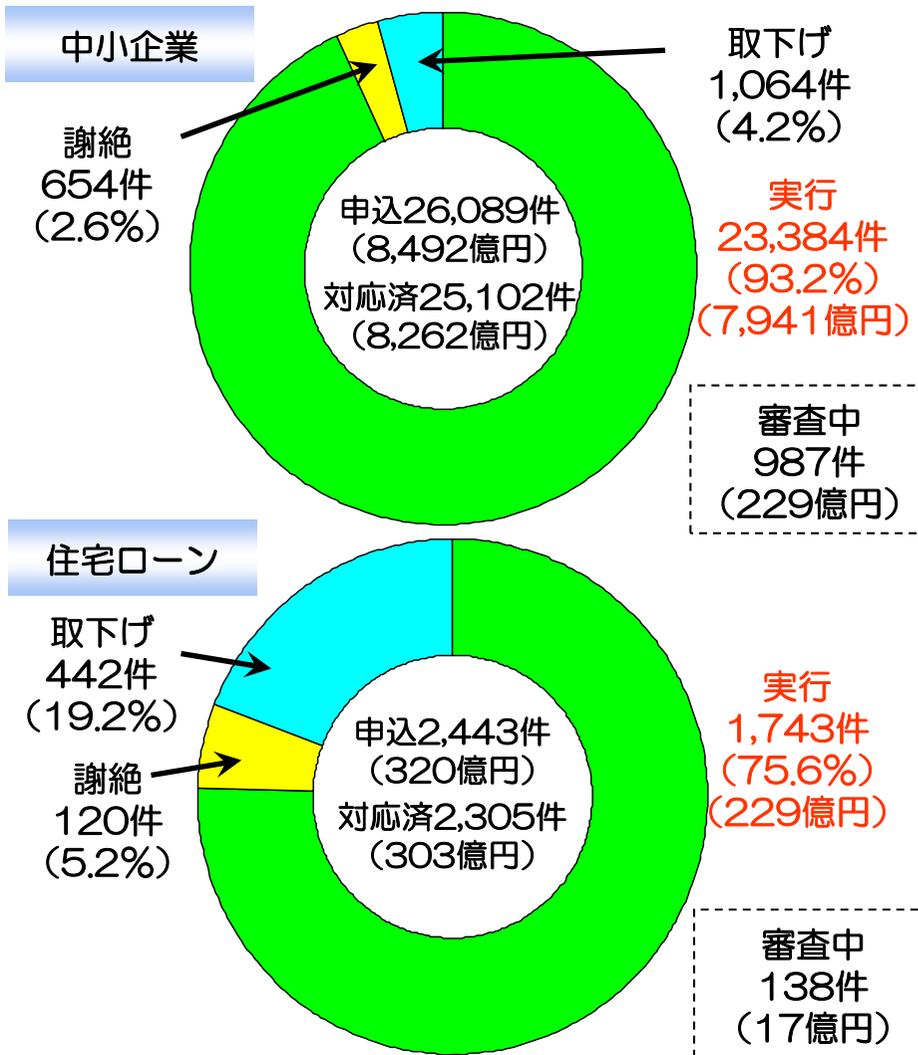
(末残、億円)



経営改善支援の取組成果



金融円滑化対応実績 (21年12月～23年3月、2行合算)



※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

利益予想 (億円)

ほくほくFG連結	中間期	通期	23/3期比
経常収益	1,020	2,030	▲ 116
経常利益	135	310	▲ 62
当期純利益	75	170	▲ 14

2行合算	中間期	通期	23/3期比
経常収益	935	1,880	▲ 78
コア業務粗利益	780	1,570	15
経費	510	1,010	23
コア業務純益	270	560	▲ 7
与信費用	110	200	54
経常利益	135	330	▲ 40
当期純利益	80	195	▲ 1

配当予想

	中間	期末	通期	23/3期比
普通株式	0円00銭	3円75銭	3円75銭	—
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	—

経営戦略

営業力の強化 ～先数増加と取引基盤強化

- 新規開拓と既往つなぎとめにより取引先数を増加
- 総合取引・ソリューション営業を推進

新規先へのアプローチ

エリア悉皆訪問
接点強化
保証協会の情報利用

既取引先のつなぎとめ

リテンションファンド
保全付貸出
マル保+プロパー併進
総合取引推進

取引先数の増加

総合取引推進

給与振込
E B・総合振込
外為取引
デリバティブ
オーナー取引
社員預金・融資
FGグループ会社取引

ソリューション営業

ビジネスマッチング
事業承継支援 (M & A)
海外進出支援
経営改善支援

産業調査部

- ・取引基盤の強化
- ・役務収益の下支え
- ・保全強化

事業性貸出
先数の推移
(単位：千先)

	22/3実績	23/3実績	25/3計画
北陸銀行	33.3	34.7	40.0
北海道銀行	10.1	10.8	12.3

- ▶ アジア・極東ロシアの成長を取り込み、地域経済の活性化を図る
- ▶ 蓄積したビジネスマッチングのノウハウを活用—顧客満足の高いコンテンツ提供



ビジネスマッチングのパイオニアとして

『伊藤忠グループ 農業生産者のための「食」の個別商談会』 北海道の『食』特別商談会
22年11月24日 I N 上川(かみかわ)
22年10月6日



提携行政機関

上海市・遼寧省
広東省・大連市
瀋陽市・蘇州市
ベトナム政府
サハリン州・・・等

提携金融機関

中国銀行・中国交通銀行
バンクネガラインドネシア
タイ・カシコン銀行
インドステイト銀行
ベトナム銀行・・・等

お取引先企業の会員組織

ほくりく長城会・・・1,071社
ほっかいどう長城会・・・240社
上海長城会・・・197社
ほくほくASEAN会・・・150社
23/3現在

- 新規獲得と囲い込みによる年金・給振先数の増強
- 住宅ローンは借換を中心として残高を積み上げ

年金・給振受取先拡大

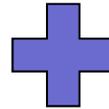
- ・年金相談会の開催
- ・年金スタッフ
- ・給与受取キャンペーン

年金・給与＋公共料金引落
など利用状況に応じた
サービスプログラムの提供



住宅ローン

新築件数は伸び悩み
⇒借換も重点をおき推進
(職域工作・重点地区ローラー)



家計メイン化の推進
アフターケア

延滞・初期対応は
ほくほく債権回収
相談体制の整備

投信・保険

退職者層・相続先
の取り込み



- ・ライフステージに応じた相談体制
- ・本部プライベートバンキングチーム

給振・年金 先数の推移

(単位：千先)

	22/3実績	23/3実績	25/3計画
北陸銀行	734.3	746.4	800
北海道銀行	864.4	873.1	950

- マーケットに応じた店舗展開
- 階層に応じた戦力化と、成長を支える人材を育成

店舗戦略

相談スペースの充実

ほくぎんポイント
倶楽部サロン（高岡）



大通パーソナル
ラウンジ（札幌）



新店舗設置

札幌市内桑園地区（平成25年8月北海道銀行）

出張所の支店化（平成22年度実績）

北陸銀行・・・5店舗
北海道銀行・・・1店舗

人材育成

若手戦力化

教育体制の見直し
育成基準の明確化

専門性・コンサル能力の強化

農業経営アドバイザー取得奨励
会計士の行員採用

MEJAR移行体制の完結

営業人員へシフト

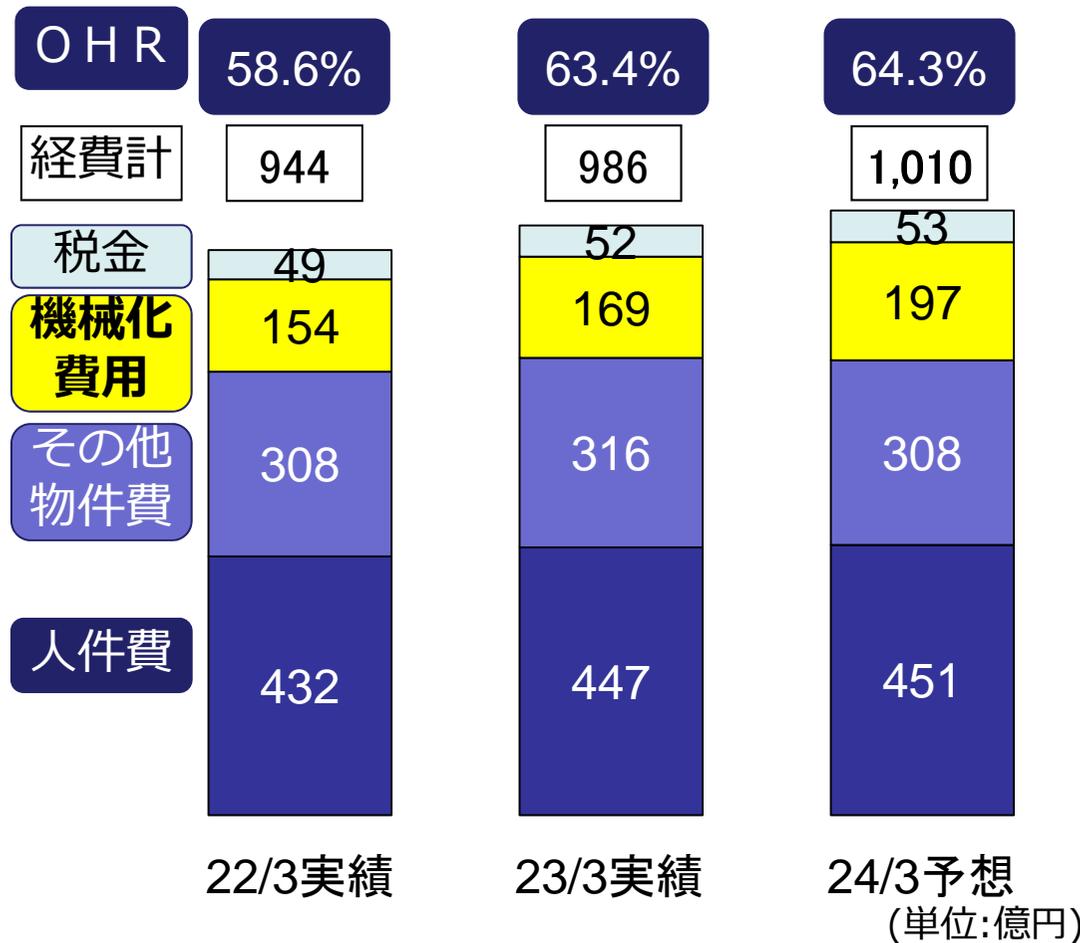
海外派遣

海外トレーニーへの派遣
海外研修の充実

効率化への取り組み

▶ 3行共同利用システム向けに追加費用—24/3期にピークアウト
 ▶ さらなる経費抑制・ガバナンスの強化に取り組む

経費・OHR (2行合算)



経費の抑制

- ・ 研修・監査の共通化
- ・ システム機器・帳票共同調達
- ・ 事務取扱要領の共通化
- ・ システム開発コスト低減
- ・ バックオフィス集中化拡大

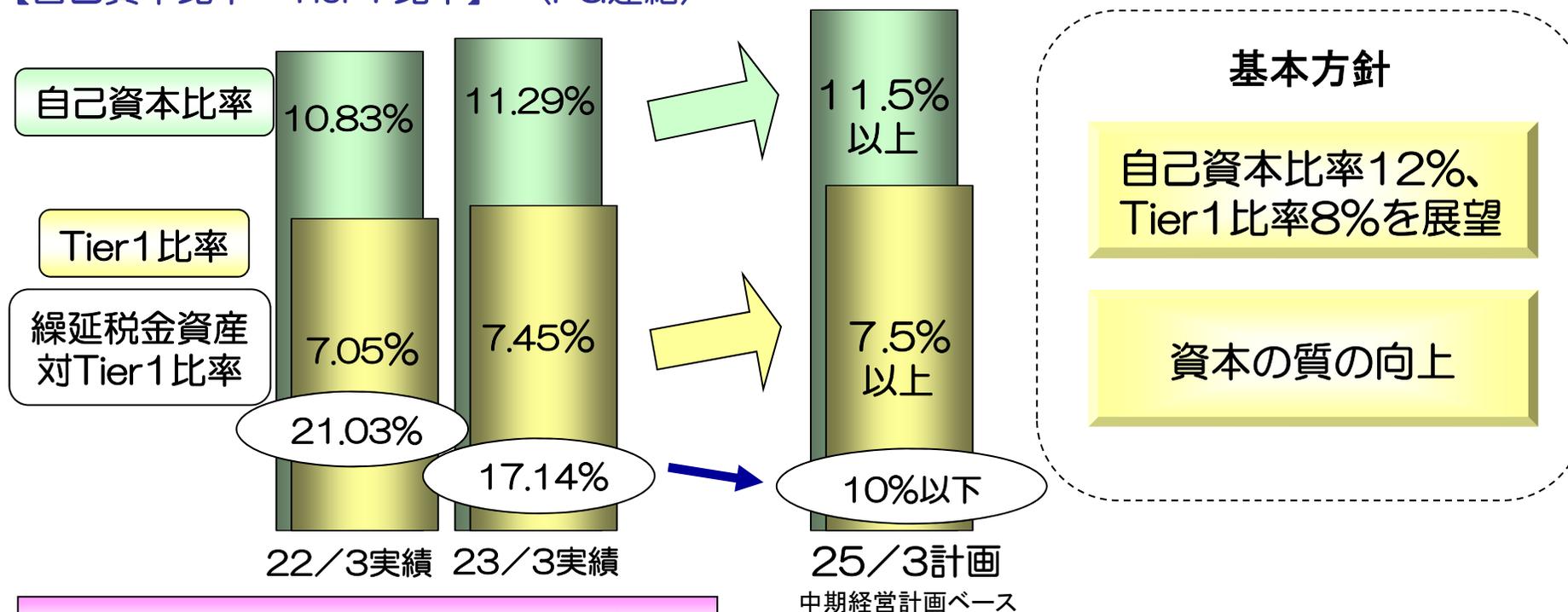
経営管理・ガバナンス強化

- ・ サブシステム共同化
- ・ 管理計数共通化
- ・ 制度・規制変更対応共通化
(I F R S ・ 自己資本比率規制)

資本政策

- 収益の積上げにより資本の質の向上を図る
- 新自己資本規制、国際会計基準、震災の影響等に備え、内部留保にも配慮

【自己資本比率・Tier 1 比率】 〈FG連結〉



普通株式 配当の実績・予想

	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度 予想
年間配当	1円50銭	2円	2円50銭	3円	3.5円	3.75円	3.75円

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



地域の賑わいづくり

富山ほくほく通り

地域のスポーツ支援

女子カーリングチームをサポート



地域のお祭りへの参加

越中大門凧まつり



音楽で潤いを

ライラックコンサート



大学院オープンクラス

富山大学大学院「MBA市民講座」



植樹活動

道銀フォレスト運動



被災地支援

支援物資・義捐金の提供



環境にやさしい店舗

太陽光パネル・LEDなどを採用



業績の推移

(単位：億円)

(ほくほくFG連結)	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期
経常収益	2,409	2,422	2,612	2,396	2,267	2,146
経常利益	482	700	663	213	354	372
当期純利益	268	406	386	370	192	184
自己資本比率	9.00%	10.44%	10.39%	10.81%	10.83%	11.29%

(2行合算) ※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は十分割子会社ベース

コア業務粗利益	1,802	1,813	1,785	1,683	1,609	1,554
経費	885	879	899	915	944	986
コア業務純益	917	934	886	768	664	567
有価証券等関係損益	69	▲ 15	▲ 6	▲ 176	2	▲ 10
与信費用	466	262	255	355	255	145
経常利益	506	701	650	213	368	370
当期純利益	291	393	390	379	260	196
ROA (コア業務純益)	1.01%	1.03%	0.95%	0.80%	0.68%	0.56%
OHR (コア業務粗利益ベース)	49.12%	48.49%	50.36%	54.37%	58.68%	63.47%
貸出金 (未残)	67,062	68,397	68,976	71,567	69,936	72,411
預金 (未残) 含む譲渡性預金	82,621	85,176	85,022	87,424	91,203	95,238
有価証券 (未残)	18,027	17,038	17,148	17,250	20,150	23,151
金融再生法開示債権	3,999	3,150	2,607	2,275	2,152	2,205
開示債権比率	5.76%	4.43%	3.64%	3.07%	2.98%	2.96%

主要経営指標の推移（北陸銀行）

（単位：億円）

	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期
経常収益	1,320	1,301	1,412	1,242	1,137	1,088
コア業務粗利益	1,054	1,066	1,052	947	901	885
経費	508	505	511	513	518	538
コア業務純益	546	561	541	434	383	346
有価証券等関係損益	64	6	▲ 7	▲ 126	▲ 24	▲ 28
与信費用	336	225	204	214	134	71
経常利益	267	381	356	88	199	229
当期純利益	156	186	212	264	156	119

自己資本比率	8.86%	9.16%	10.10%	10.23%	10.80%	11.32%
ROA（コア業務純益ベース）	1.02%	1.05%	0.99%	0.77%	0.68%	0.59%
OHR（コア業務粗利益ベース）	48.18%	47.37%	48.53%	54.18%	57.48%	60.85%
貸出金（末残）	41,104	41,467	42,107	42,933	41,426	42,523
預金（末残）含む譲渡性預金	48,648	49,763	49,557	50,925	53,067	54,399
有価証券（末残）	8,927	8,532	8,209	8,588	10,159	12,175
金融再生法開示債権	2,602	2,022	1,635	1,426	1,473	1,443
開示債権比率	6.03%	4.65%	3.72%	3.19%	3.42%	3.28%

※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は十分割子会社ベース

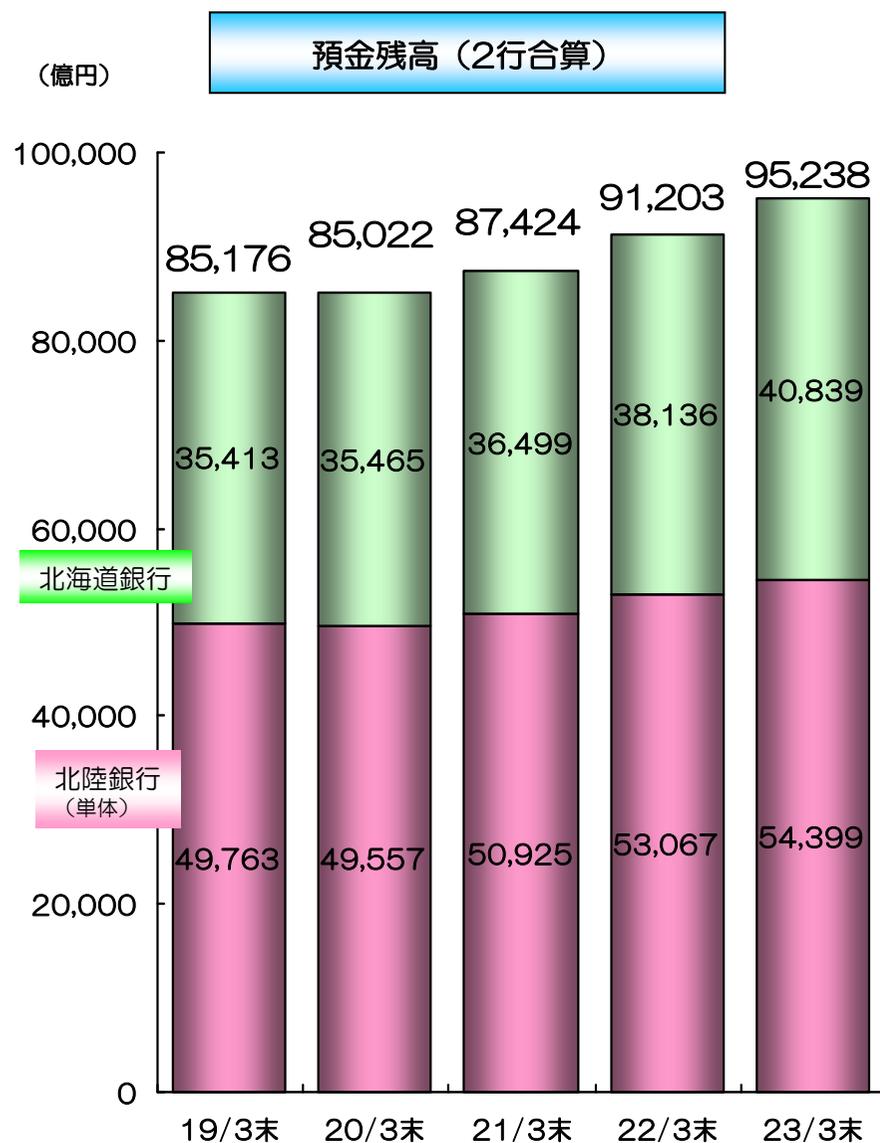
主要経営指標の推移（北海道銀行）

（単位：億円）

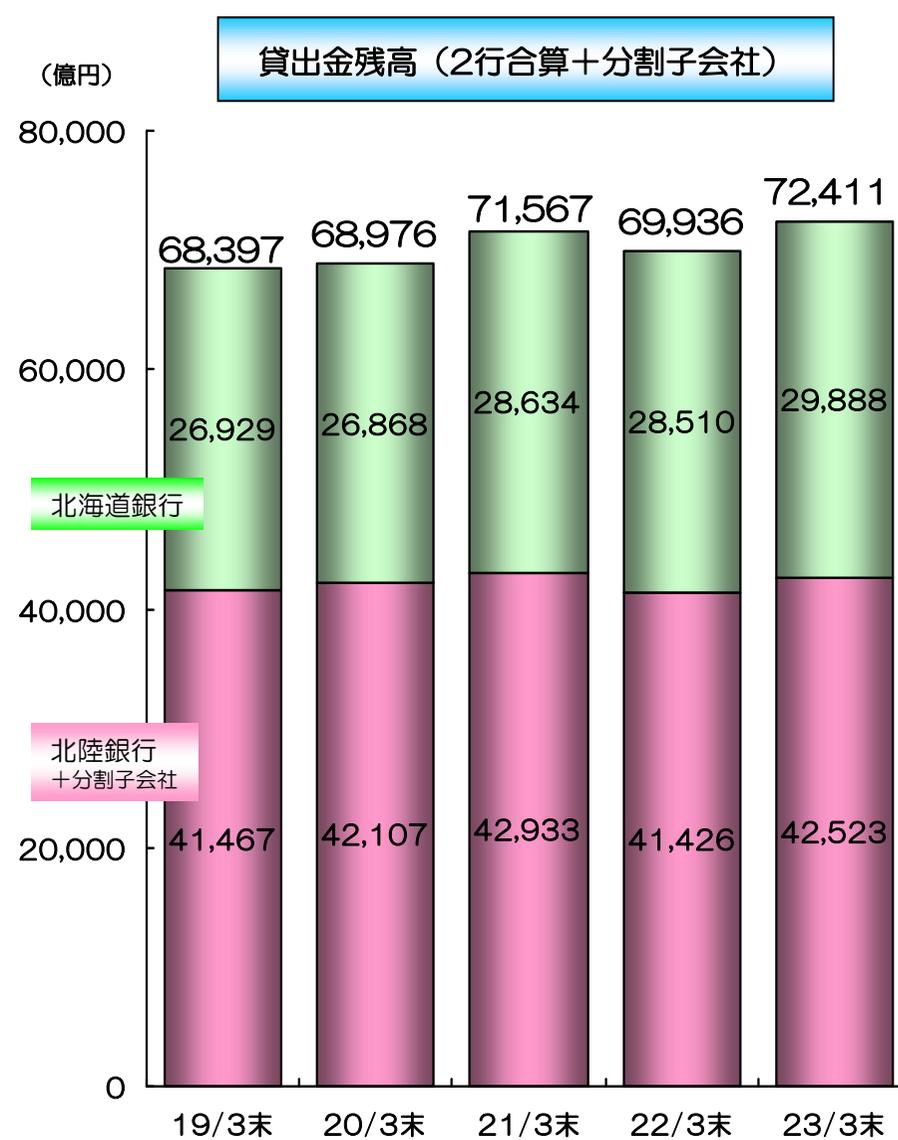
	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期
経常収益	882	884	960	943	937	870
コア業務粗利益	747	747	732	735	708	668
経費	377	374	388	402	426	447
コア業務純益	370	372	344	333	281	221
有価証券等関係損益	4	▲ 21	1	▲ 49	27	17
与信費用	129	36	51	140	120	74
経常利益	238	319	294	125	169	141
当期純利益	134	207	178	114	103	77

自己資本比率	8.50%	9.91%	10.13%	10.45%	10.19%	10.59%
ROA（コア業務純益ベース）	1.00%	1.00%	0.90%	0.85%	0.68%	0.51%
OHR（コア業務粗利益ベース）	50.44%	50.08%	52.98%	54.62%	60.21%	66.93%
貸出金（末残）	25,957	26,929	26,868	28,634	28,510	29,888
預金（末残）含む譲渡性預金	33,973	35,413	35,465	36,499	38,136	40,839
有価証券（末残）	9,100	8,506	8,938	8,662	9,991	10,976
金融再生法開示債権	1,397	1,128	972	848	679	763
開示債権比率	5.31%	4.08%	3.52%	2.89%	2.32%	2.49%

～業績の推移～預金・貸出金

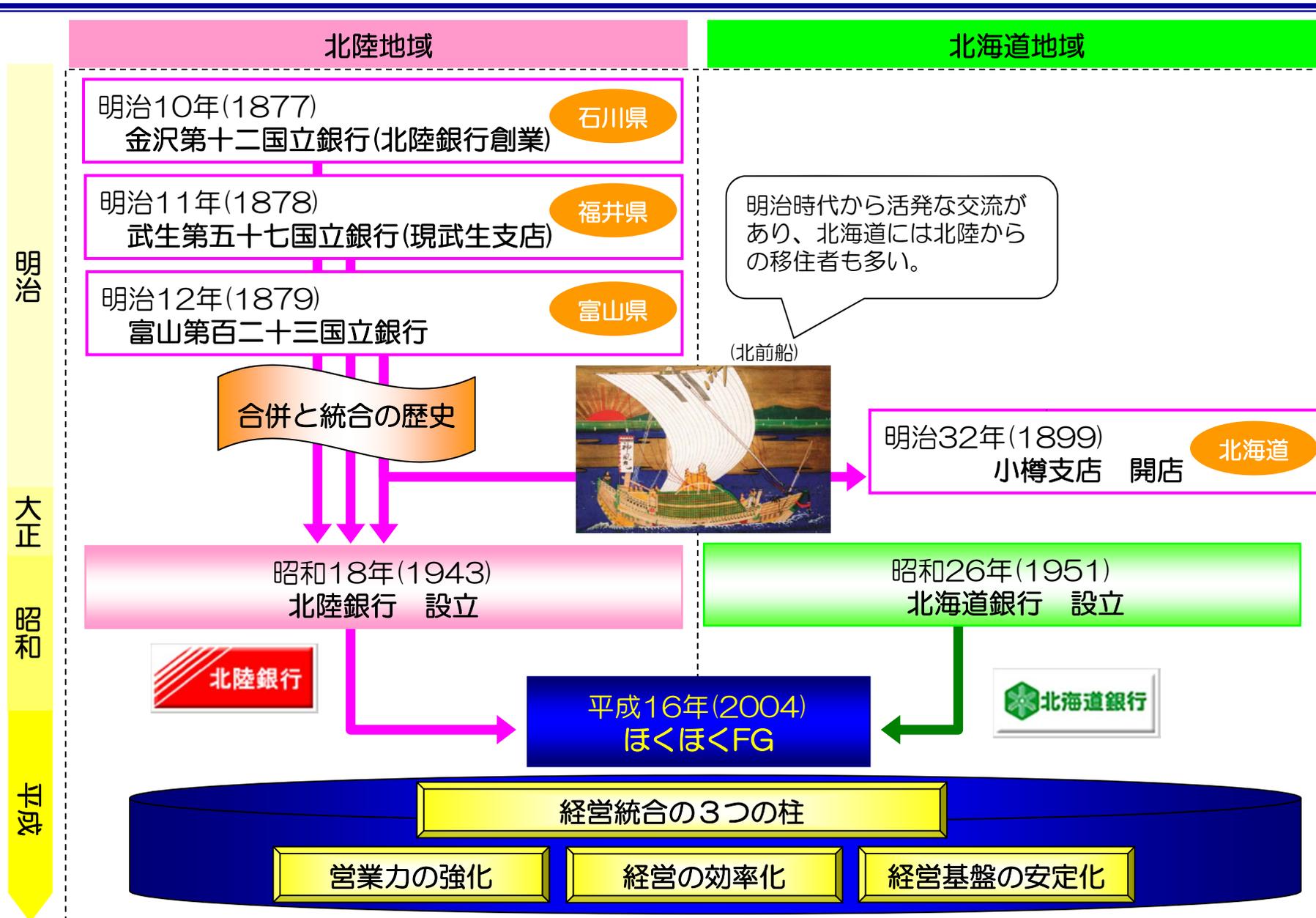


※譲渡性預金を含む



(ご参考) 当社グループ概要

(ご参考) ほくほくFG統合までのあゆみ



(ご参考) ほくほくFGのプロフィール

プロフィール (平成23年3月末)

商号	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
設立	平成15年9月26日
本店所在地	富山県富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	708億9,500万円
発行済株式数	普通株式 1,391,630,146株 第1回第5種優先株式 107,432,000株
総資産	10兆5,850億円 (連結)
預金 (NCD含む)	9兆4,917億円 (連結)
貸出金	7兆2,246億円 (連結)
自己資本比率	11.29% (連結)
格付 (平成23年5月現在)	ほくほくFG A (R&I)、A (JCR) 北陸銀行 A (R&I)、A (JCR) 北海道銀行 A (R&I)、A (JCR)

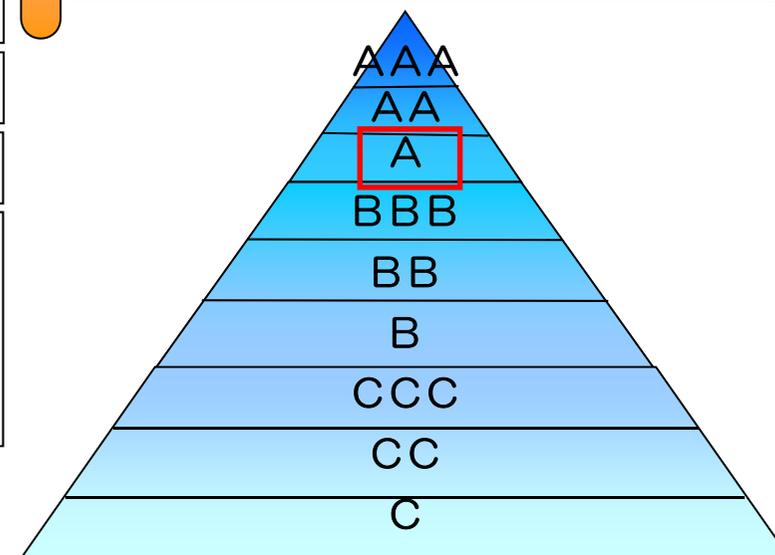
格付け状況

平成19年12月
R&I: BBB+ → A (2段階格上げ) ~北陸銀行

平成20年2月
JCR: BBB+ → A- (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行

平成20年5月
R&I: A ~ほくほくFG、北海道銀行

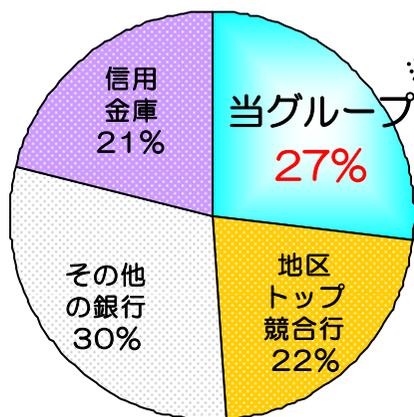
平成22年3月
JCR: A- → A (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行



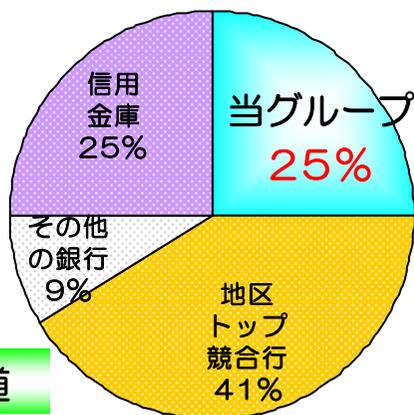
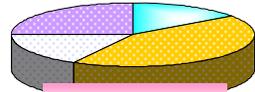
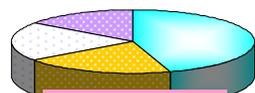
(ご参考) 地域シェア

地域シェア (平成22年9月末)

貸出金

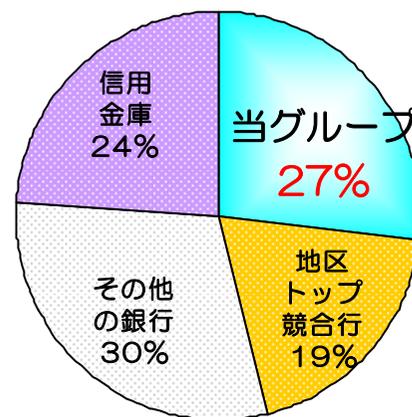


北陸三県

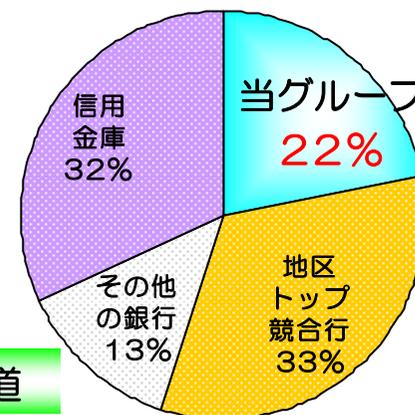
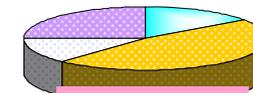


北海道

預金



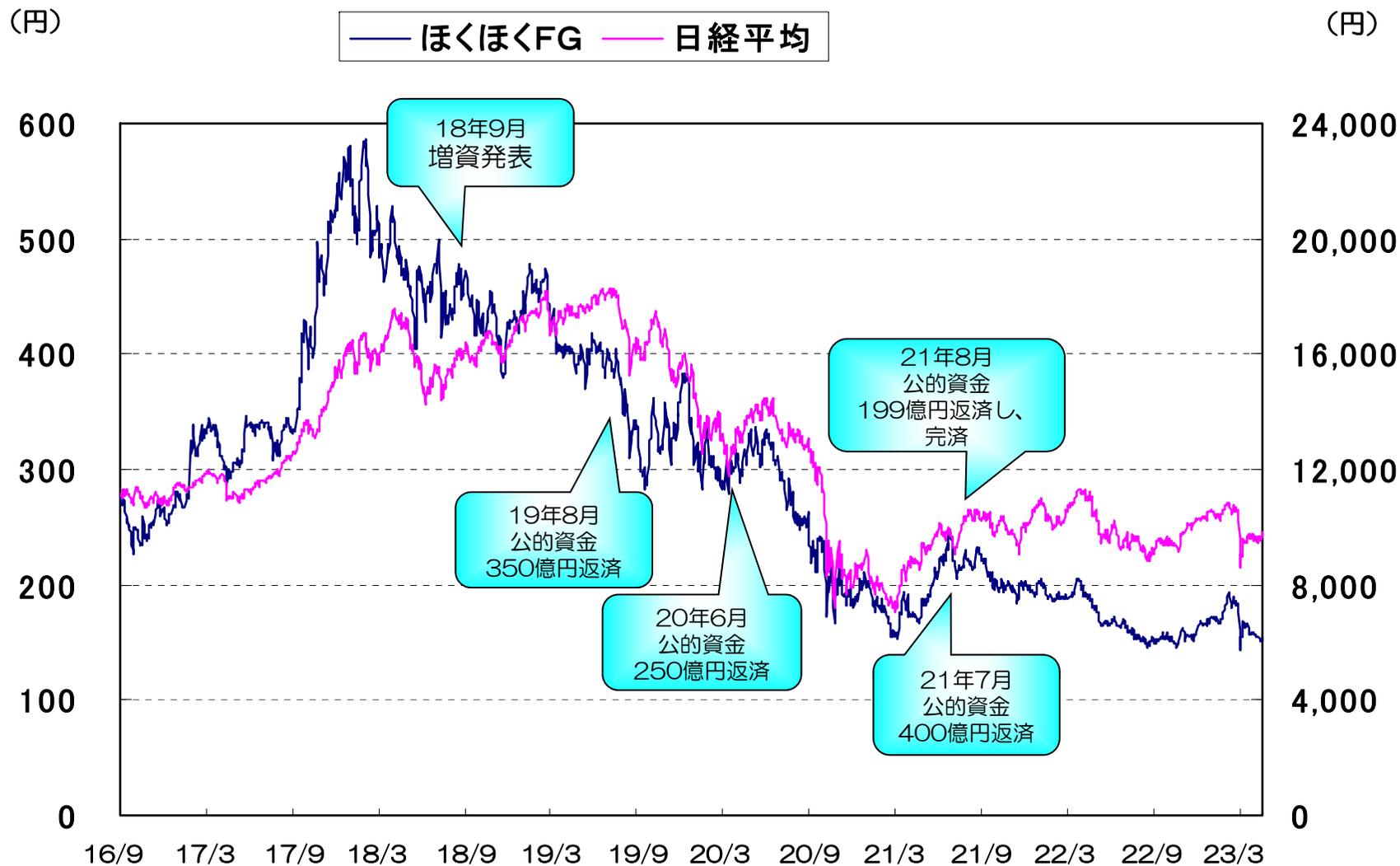
北陸三県



北海道

シェア ⇒ 預金・貸出金ともに、富山県でトップ、北海道、石川県、福井県で第2位。

(ご参考) 株価推移



本日はご多忙の中、当社説明会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

本日のご説明ならびに本資料を通じまして、ほくほくフィナンシャルグループに対するご理解の一助としていただければ幸いです。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

取締役社長 高木 繁雄
取締役副社長 堰八 義博

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：丸谷）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。